

令和4年度

九州大学大学院薬学研究院
公開講座案内

漢方および食の重要性について考える



令和4年度 九州大学大学院薬学研究院公開講座実施要項

1 講座の名称

漢方および食の重要性について考える

2 趣旨・目的

超高齢化社会を迎えた日本では、病気を予防し健康寿命を延ばすことが重要な課題となっています。この課題を達成する方法として、漢方薬が古くから知られています。紀元前に書かれたとされる世界最古の医学書黄帝内経素問は現代の漢方概念の基礎となっています。漢方薬のみならず、日常における食生活も成人病を防ぎ健康寿命を延ばす重要なファクターとみなされています。

しかしながら、漢方薬や食に関する偏った情報が氾濫しており、誤った摂取により健康を害するケースも報告されています。本講座では漢方薬や食について専門家に説明いただき、これらに関する話題と漢方薬や食をさまざまな観点から捉える大切さを提供します。

3 講座の実施日程及び開講時間

実施日程：令和4年9月25日（日）、10月2日（日）

開講時間：13時～16時40分

（初日は12時55分～13時に開講式、最終日は16時40分～16時45分に閉講式を行います。）

4 講座の概要、講師、日程等 別表のとおり

5 実施場所 九州大学コラボ・ステーションI 視聴覚ホール（福岡市東区馬出3丁目1番1号）

6 受講対象者及び募集人員 地域の薬剤師及び一般市民・学生（薬系大学院生・学部生等）200名

7 申込方法

(1) 氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業・学校名、連絡先、薬剤師免許の有無等を記入した申込書（右記参照、複写のうえ使用可）を受講料振込控え（コピー可）と共に、「8 申込先」あて令和4年8月31日（水）までに送付ください。（インターネットから振込みをされた場合は、振込みをされたことが確認できる画面のコピーを送付ください。）

(2) 振込先 銀行名「三井住友銀行 福岡支店」、普通預金、口座番号「7119252」
口座名義「国立大学法人 九州大学講習料」

*手数料はご本人負担となります。

*お手数ですが、振込人のお名前の前に「ヤクガクブ」と必ずお入れ願います。

(例)「ヤクガクブ キュウダイ タロウ」

(3) 申込者多数の場合は先着順といたします。

なお、お申し込み後にキャンセルされた場合や、当日ご欠席された場合は、いかなる理由でもお振込みいただいた受講料の返金はできませんので、ご了承願います。

8 申込先

九州大学 医系学部等総務課総務第一係 薬学公開講座担当
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
TEL: 092-642-6248
FAX: 092-642-6246
E-mail: ijssomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

9 受講料

6,500円 (学生は2,000円)

10 修了証書

2回以上出席された方には、修了証書を授与します。

11 薬剤師の方へ

財団法人 日本薬剤師研修センターの集合研修会となります。
(1講義につき1単位が認定されます。)

12 不測の事態の場合は、講演予定変更の場合がありますことを予めご了承ください。また、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となる場合もございますので、予めご了承ください。

不測の事態による予定変更についての緊急のご連絡のために、差し支えなければ申込書にメールアドレス・携帯電話番号等をご記入ください。

なお、悪天候時等の開講の確認等についてはWebページによる確認 (<http://www.phar.kyushu-u.ac.jp/outsider/seminar.php>, 右の2次元バーコードも利用できます), もしくは, 092-642-6248へご連絡ください。



令和4年度九州大学大学院薬学研究院 公開講座申込書				
連絡先	〒 _____ (Tel _____) (E-mail _____)			
ふりがな 氏名		性別	男・女	年齢
職業・学校名		薬剤師免許の有無		有・無

皆様からお寄せいただきました個人情報については、次の目的に使用させていただきます。

- 1 本公開講座に係る連絡
- 2 今後開催する公開講座の検討資料

講師及び講義題目等

月 日	時 間	講義題目等	講 師	概 要
9月25日(日)	12:30～	受 付		
	12:55～13:00	開講式		
	13:00～14:30	生薬、漢方薬を生かした健康寿命の延伸	山陽小野田市立 山口東京理科大学 薬学部 生薬学・漢方講座 教授 田中 宏幸	高齢社会において、健康寿命をできる限り延ばすことが重要な課題として取り上げられています。健康寿命の延伸は伝統医薬学の主要な基本姿勢に合致することから、漢方やその他の伝統医薬学に基づいた取り組みが改めて注目されています。我々は、以上の基本姿勢に着目して生薬、漢方薬に関する広範な研究を進めています。今回の講座では、付加価値の高い生薬原料の育種と評価法の確立についての話題ならびに健康寿命の延伸をもたらす有用な天然資源についての話題を紹介いたします。
	14:30～14:40	質疑応答		
	14:40～15:00	休憩、受付		
	15:00～16:30	幸せな共食を人類史と心理学の視点から考える	九州大学 持続可能な社会 のための決断科学 センター 准教授 比良松 道一	料理を囲んで分かち合う共食は人類特有の採食様式です。共食は食べる人どうしのコミュニケーションを活発にさせ、私たちの人間らしさの象徴である「社会性」を育んできました。ところが昨今のコロナ禍は、共食しづらい状況を生み出し、多くの人に心的ストレスをもたらしました。また、必ずしも自分で料理を作る必要がない現代社会での共食は、大量の廃棄食料を生み出すことも少なくなく、決して持続的な営みとは言えません。共食文化を進化させた太古の時代とは異なる現代の環境下で、私たちが幸せを感じることが出来る共食とは一体どのようなものなのでしょう。人類の共食の歴史や共食にまつわる心理学研究の成果を踏まえ、みなさんと一緒に考えます。
	16:30～16:40	質疑応答		

講師及び講義題目等

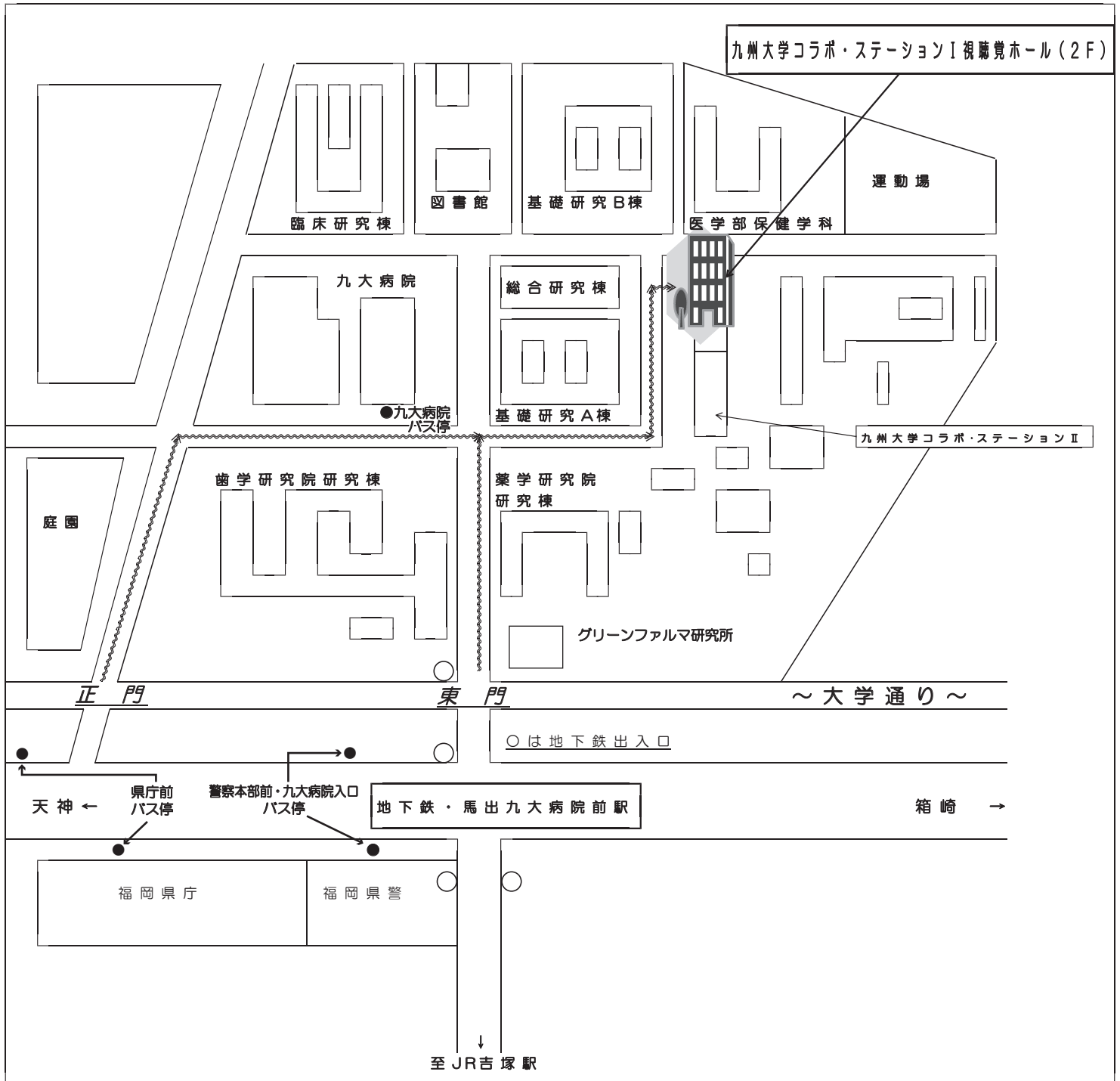
月 日	時 間	講義題目等	講 師	概 要
10月2日(日)	12:30～	受 付		
	13:00～14:30	ドーピングと 生薬	九州大学 薬学研究院 生薬学分野 准教授 坂元 政一	我が国で発生しているアンチ・ドーピング規則違反の多くは、競技者に対してアンチ・ドーピング規則及び薬に関する適切な情報が提供されていれば防げたものです。近年、漢方薬の処方数及び一般用医薬品としての販売数は増加の一途を辿っており、競技者も漢方薬を服用する機会が増えています。漢方薬は複雑に数種類の生薬から構成されていますが、禁止薬物を含む生薬に関する情報を得ることで競技者に対して使用可否の情報提供ができるのではないかと考えています。本講演では、ドーピング規則違反になりうる生薬やその探索研究について概説します。
	14:30～14:40	質疑応答		
	14:40～15:00	休憩、受付		
	15:00～16:30	東洋古典医学に みる食を中心と した日常生活の 重要性について	九州大学 薬学研究院 臨床育薬学分野 准教授 島添 隆雄	黄帝内経素問は世界最古の医学書ですが、漢方の原点とも言える書です。紀元前に書かれたにもかかわらず、その内容は現代にも十分通じます。この書を読んでもみると、大きく進歩したと言われる現代医学が、実はあまり進歩していないのではないかとさえ考えさせられます。また、この素問では、自然とともに生きる生活がいかに重要であるかを述べています。さらに、食の重要性にも多く触れられています。本講演では、素問を中心に現代人の食の捉え方について再考を求めます。特に現代の栄養学の概念にはない五気と五味の概念を考え、食と病気との関連性について考えます。
	16:30～16:40	質疑応答		
	16:40～16:45	閉講式		

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

会場案内図

九州大学コラボ・ステーションⅠ（九州大学病院地区内）
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号



※ できるだけ公共交通機関でお越しください。やむを得ず自家用車で来られた場合は、敷地内に有料駐車場がございます。（お車の場合は正門からお入りください。）

